Kumamoto Mental Health Hospital "REFLE"

りふれ

2026 Spring
春号
Vol. 86



医療法人 再生会
くまもと心療病院

地域に開かれた病院を目指して…

理念

くまもと心療病院は、精神障害者と共に暮らす、より良き地域社会の実現に向けて、地域における精神保健・医療・福祉に奉仕します。

基本方針

1. 患者様やご家族に満足していただくために、医療サービスの質の向上に取り組みます。
2. 全職種が一体となり、チーム医療を実践します。
3. 患者様の人権を尊重し、人に優しい安全な医療を提供します。
4. 患者様の地域生活を支援します。

巻頭言　2026年 春

医療法人再生会　くまもと心療病院
理事長・院長　荒木 邦生

2025年度は何とか乗り切ったという感じ。2026年度はもっと余裕を持って、そして前向きに進みたいものである。高市政権で決まった診療報酬のアップも、どの程度病院経営にプラスになるかまだ不明な点も多い。職員も少ない人数に負担を掛けながら、何とか切り盛りしてもらっているので、少しでも改善できればと思っている。

また医師数も不足しており、外来の新患の待ち期間が長くなっている。これも医師をなんとか確保して、少しでも解消したい。病院の課題はいろいろあるが、新入職員が入ってくれた。新しい職員も、長く働いてもらっている職員も、患者さんを少しでも笑顔にできるように協力し合ってほしい。そしてみんなに働きがいを感じてもらい、また個人の生活においても幸せに過ごしてほしい。そういう思いである。

世界ではウクライナの戦争が終わらないうちに、イランで戦争が起きてしまった。古いデータに基づいたAIの判断で、小学校が爆撃され多くの女子小学生が犠牲になった。あってはならないことである。アメリカは、自国の中間選挙のためにイスラエルに加担し、戦争を始め多くの犠牲者を出しながら、何かと理由をつけてそれを正当化しようとする。アメリカが病んでいることの象徴が、トランプ大統領のように思える。彼にとって他国や世界平和などどうでも良いのである。自国の利益と自分の支持者を増やすことしか考えていない。まことに残念である。



私は今年70歳になるが、このところ衰えを感じている。身体的には毎年何かの症状が出るし、精神的にも気力低下を自覚している。これまでずっと走ってきたが、減速せざるを得ないと感じている。しかし嘆いてばかりでは仕方ないので、身体と心を整えながら、少しでも長く貢献したいと考えている。



りふれ　2026年 春号の表紙・・・・・・・・・・・・大海原へ

此処は湯の児スペイン村福田農場です。スペイン風の建築物の中に日本の鯉のぼりが泳ぐ風景が何故か絶妙なバランスで、空の青から鯉のぼり達が海の青を目指し、一生懸命泳いでいる様な力強さを感じ《大海原へ》とタイトルを付けました。近くには湯の児チェリーラインがあり、桜の時期は不知火海と桜のコントラストが絶景です。機会が有ればチョット足を延ばしてみては如何でしょう。

（撮影者：重度認知症患者デイケアぎんなん　上林　太 ／ 職員写真コンテスト入賞作品）

こころの
寺子屋
てらこや

第22回

私の尊敬する先生

こんにちは。くまもと心療病院で週１日勤務させていただいている医師の和田浩稔と申します。

今回、くまもと心療病院の広報委員会の方から「『こころの寺子屋』というコーナーに元気になることなどをテーマに原稿を書いてください」と原稿執筆依頼をいただきました。この院外広報誌「りふれ」は官公庁などにも配布されるということで、原稿執筆の機会をいただきとてもありがたく思います。

私は熊本大学神経精神科の医局に所属しています。くまもと心療病院には医局からの派遣で勤務させていただいております。くまもと心療病院にはこれまでに医局の多くの先生方が勤務されてきました。その中に私が特に尊敬している先生がいます。今回はその先生について書かせていただきます。

その先生は認知症のスペシャリストです。熊本大学病院の認知症疾患医療センターの要職も務めておられます。その先生の外来は有名で、その先生の診察を見学するために多くの人が陪席をしたと伺っております。

また、昨年、熊本大学神経精神科が崩壊の危機にあったとき、大学医局を救うために教官として大学医局に戻って来られました。自分さえ良ければいいという人が増えているこんな世の中で、利他の精神にあふれる先生です。

また、その先生は文学にも造詣が深く、自ら小説を執筆されています。小説を執筆するには人間そのものへの洞察力を持っていることが必要だと思います。そのような洞察力を持っておられる先生こそが病気を診るとともに病気の人を診ることができるのだと思います。

このように身近に尊敬できる先生がいて、「自分はまだまだだ」「自分もこの先生のようになりたい」と思うことで「もっと頑張ろう」と元気が出てきます。当直などで疲れていても次の日の勤務を頑張ることができます。医局のような徒弟制度は最近は流行らないようですが、徒弟制度にもいいところはあると思います。

みなさんも身近に尊敬できる人はいるでしょうか？

Profile　医師　和田 浩稔　Hirotoshi Wada

令和８年４月～　熊本大学病院 神経精神科　助教・外来医長
くまもと心療病院　非常勤医師



令和8年 入職式

令和８年４月１日（水）、新入職者８名を迎え、医療法人再生会令和８年度入職式が執り行われました。
理事長挨拶の後、新入職員の代表挨拶を地域相談支援科に入職された中尾莉央さんが述べられました。これからの再生会を担う新しい力をお迎え出来て、大変喜ばしい気持ちになりました。

８名は各部署に配属されこれから新しい環境で仕事に就かれます。新入職の皆さんが早く職場に慣れて活躍できるよう、職員皆でサポートしていきたいと思います。







2026年 新人オリエンテーションを開催しました









４月初旬、2日間にわたり入職者への「新人オリエンテーション」を開催致しました。今年度は12名の新しい仲間を迎え、病院の理念や基本方針をはじめ、組織の概要、精神保健福祉法や向精神薬についての知識、医療安全、感染対策など、精神科医療に携わる上で欠かせない専門知識について、各担当者より講義を行いました。

新社会人として第一歩を踏み出す方、そして、初めて精神科で勤務する方にとって、覚える事も多く、非常に中身の濃い時間だった事でしょう。緊張感の中にも、真剣な眼差しで耳を傾ける皆さんの姿は、病院全体に新たな活力と力強いエネルギーを与えてくれました。

院内講演会

去る３月13日、当院体育館に於いて、小児科専門医の岡田稔久先生を講師に迎え、第41回院内講演会を開催いたしました。





岡田先生はユーモアのある語りと共に、多彩なスライド演出やBGMを交えながら、発達障害における「個々の特性に応じた支援」について解説されました。大切なのは「どのように伝え、どのように関わるか」という相手に寄り添う姿勢であり、一人ひとりの特性に合わせた工夫や対応を模索する事の大切さを強調されました。特に「相手に伝えたいひとつの事」を22枚のスライドを使い、それぞれ異なる視覚パターンと聴覚情報で紹介され、伝え方の多様性を学ぶ貴重な機会となりました。また発達障害に限らず、あらゆる対人コミュニケーションにおいて示唆に富む内容でもありました。

季節を感じる時間 春の訪れ

西棟の裏手にある桜の木。全病棟から見えるこの桜の木は、毎年春の訪れを感じさせてくれます。







患者様と制作し病棟に飾りました



デイケアでは立岡公園と岡岳公園へお花見ドライブに出かけました。





節分もしました



作業療法士と制作やゲームをしています

くまもと心療病院 2026年 春 行事食のご紹介

2025年度は26回の行事食と４回のデザートサービスを実施しました。毎回手の込んだメニューは提供できませんが、内容を工夫しどうしたら患者様に喜んでいただける食事サービスが出来るか科内のイベント委員を中心に検討しています。

３月のさくらの日には『お花見弁当』を提供しています。提供後のアンケートでは、「全部おしかった」や「満足しました」「入院するならくまもと心療病院。飯がうまい☆☆☆☆☆」と星５つを頂くことができました。また「巻きずしを食べたかった」などご要望もいただきましたので、今後のメニュー参考にしたいと思います。2026年度も、楽しく美味しい行事食やデザートサービスを提供していきます。



3/3 夕 ひな祭り



3/20 昼 春分の日



3/27 お花見弁当



3/23 東3デザートサービス なめらかプリン

教えて！ハイヨ

精神科病院の通院費が安くなるってほんと？

はい。自立支援医療の手続きをすると、１割負担になります。
「自立支援医療」とは、平成18年に施行された「障害者自立支援法」に基づく制度です。これにより、身体障害、知的障害、精神障害に関わらず、障害者の自立と安心をサポートする目的で、共通した制度が提供されるようになりました。
病院窓口でのお支払いが１割負担となり、収入に応じて「上限額」が設定されています。
１年毎の更新が必要です。

手続きの方法は？

お住いの市区町村の窓口でおこないます。
その際に必要となるものは…



1. 医師意見書

医師が作成しますので病院で作成を申し込みます。
☆ 新規申請または受給者証に「2年目」の記載がある場合は必要です。
☆ 治療内容の変更がなければ2年に1度の提出となります。

2. 申請書 市区町村福祉課にあります。

3. 同意書 市区町村福祉課にあります。

4. 受給者証の写し



更新の場合は、これまでの受給者症の写し（コピー）が必要です。

5. 年金振込通知書または年金が振り込まれる通帳の写し

☆ 障害年金を受給されている場合は必要です。
☆ 昨年度の受給額がわかるもののご用意をお願いします。
（例：令和7年度に申請→令和6年度のもの）



6. マイナンバーカード

7. 認印

☆ ご本人が手続きされる場合は不要です。
☆ 代理人が手続きされる場合は代理人の印鑑のご用意をお願いします。



注意点
① 代理人が手続きされる場合は代理人の身分証明証（運転免許証等）が必要です。
② 申請を終えると、「控え」をもらいます。それは手続きをした証明になりますので、外来窓口にお渡しください。
③ ご不明な点がありましたら、お住いの市町村福祉課もしくは当院の地域相談支援科までお尋ねください。

発信

認知症疾患医療センター

◆宇城認知症地域連携懇話会学術講演会 認知症疾患医療センター事例検討会



２月27日、ウイングまつばせで開催しました。今回、事例発表を有料老人ホームつばさ管理者の松岡様、特別講演を紫藤社会福祉士事務所の紫藤先生にお願いしたのですが、内容が“意思決定支援”と共通したものでした。ご本人の意思に沿えるよう試行錯誤しながらも、関わる人たちがチームとなって支えていくことの大切さを学びました。厚生労働省のHPにガイドラインが掲載されていますので、ご覧になってみてください。

◆熊本県基幹型認知症疾患医療センター事例検討会



２月28日、今年度第3回目の事例検討会でした。今回は事例がレカネマブ治療の状況（益城病院）、認知症病棟の退院支援（菊池病院）、講演がみつぐまち診療所の津野田先生で、実際取り組まれているピアサポート活動のお話をうかがいました。当院でもできることを少しずつ取り入れていければと思います。

お知らせコーナー

■ 家族教室が開催されました

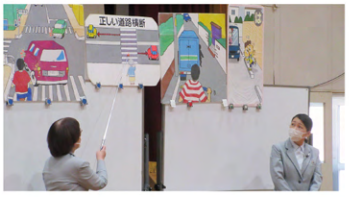


３月７日（土）、今年度２回目の家族教室が開催されました。今回は「障がい者の地域支援の現状について」と題し、うきうき地域生活支援センター高松施設長に講演をしていただきました。障害福祉サービスの種類や、障がいのある方の生活を地域全体で支える事業等についてわかりやすく説明がありました。講演後は毎回家族懇談の時間となっており、和やかな雰囲気の中それぞれ自由にお話しをしていただきました。

次回は夏頃開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

■ 交通安全教室





2026年３月17日、当院体育館にてデイケア等の利用者約50名に交通安全教室が行われました。お越しいただいた宇城地区交通安全教育講習員のお二人からは、交通事故の事例や事故防止対策などを紹介していただきました。そして横断歩道の渡り方について重点的に教えていただきました。

■ 境Dr. 外来診療日変更のお知らせ

これまで月曜日と木曜日に外来診察をしていましたが、４月からは金曜日の午前中に変更になりました。

編集後記

暖かな日差しに春の訪れを感じる季節になりました。新しい環境に胸を膨らませている方も多いのではないでしょうか。一方で、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。どうぞ無理をなさらず、健やかな春をお過ごしください。　（東２階病棟　ケアワーカー　宗）

関連施設

医療法人　再生会

■地域拠点型認知症疾患医療センター　☎0964-22-1106

■すみれ訪問看護ステーション　☎0964-22-0402

■認知症高齢者グループホーム「ぬくもり」　☎0964-22-1118

■小規模多機能型居宅介護「ぬくもり」　☎0964-22-7277

■うきうき地域生活支援センター　☎0964-22-2510

■障がい者共同生活援助グループホーム「まつやま」　☎0964-22-5501

外来診察

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	休　診
午後	○	○	○	○	○	休　診

診察	月～金曜日	午前の部	9:00～12:30
		午後の部	14:00～17:00

◆休診日：土曜日・日曜日・祝日
お盆休み（8月15日）・年末年始12月30日～1月3日

※ 診察券は、受診時に必ずお持ちください。（診察券は大切に保管してください）

※ マイナンバーカードまたは資格確認証は、受診の都度ご提示下さい。

※ 診察はすべて予約が必要です。事前にご連絡ください。但し、急患はこの限りではありません。

交通のご案内

■JR鹿児島線・三角線　「宇土駅」下車
→タクシー（約10分）

■JR鹿児島線　「松橋駅」下車
→タクシー（約5分）

■松原交差点から八代方面へ車で約5分



医療法人　再生会
くまもと心療病院
Kumamoto Mental Health Hospital
〒869-0416 熊本県宇土市松山町1901番地
TEL.0964-22-1081（代）　FAX.0964-23-1395
E-mail info@k-shinryou.jp
ホームページ　http://k-shinryou.jp/